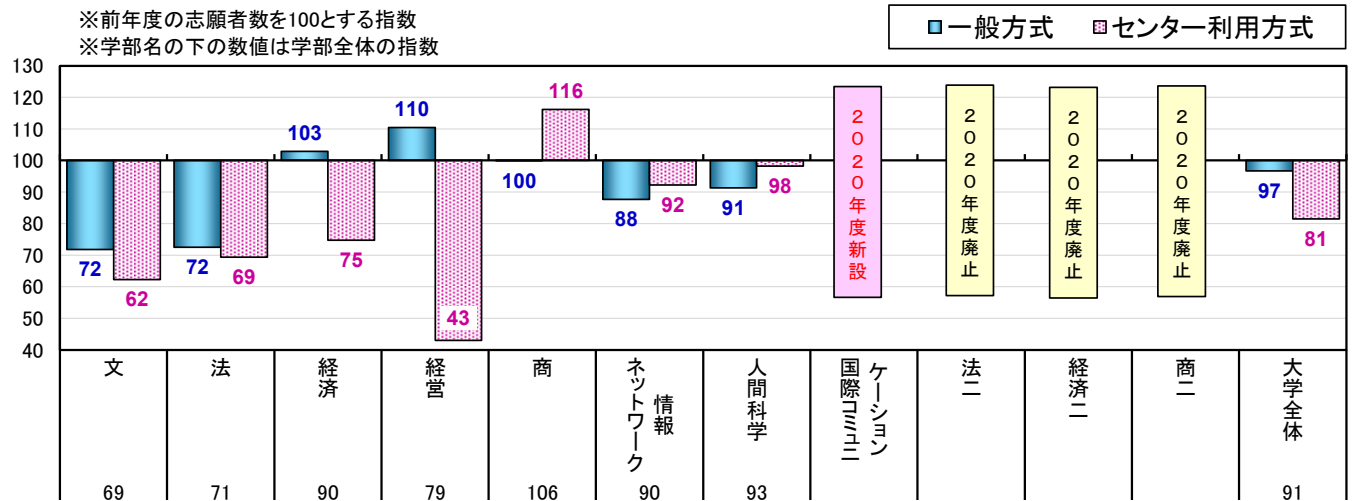


# 2020 年度入試状況分析【私立大】

専修大：学部新設も大学全体では5年ぶりに減少

一般：-1,152人 センター：-4,025人



**入試変更点** 学部新設：国際コミュニケーション(日本語、異文化コミュニケーション)  
募集停止：文(日本語)、法二、経済二、商二  
学科改組：経済(経済)→(現代経済、生活環境経済)  
キャンパス移転：商…生田キャンパス→神田キャンパス

**COMMENT** ※( )内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、4年連続増加の反動で5,177人(91)の減少。新設・廃止学部を除くと、(83)の大幅減少。既存の学部別では、商(106)のみ神田キャンパスへの移転効果で増加。文(69)、法(71)、経営(79)は大幅減少。

<一般方式>

- 文(72)は、国際コミュニケーション新設で募集停止の(日本語)を除いても(79)の大幅減少で、6年ぶりに減少。6学科全てが減少し、(日本文学文化)(90)以外の5学科は大幅減少。
- 法(72)は、系統への人気低下と前年度大幅増加の反動で大幅減少。2学科とも減少し、(法律)(68)は大幅減少。
- 経済(103)は、系統への人気低下の中でやや増加し、2年連続増加。(経済)から2学科に改組の(現代経済、生活環境経済)は合計(93)でやや減少だが、(国際経済)(135)は大幅増加。
- 経営(110)は、系統への人気低下の中で増加。2学科とも増加し、特に開設2年目の(ビジネスデザイン)(128)は大幅増加。
- 商(100)は、3年連続増加の反動はなく前年度並。学科別では、(マーケティング)(109)が増加、(会計)(86)は減少。
- ネットワーク情報(88)は、4年連続増加の反動で減少。
- 人間科学(91)は、2年連続増加の反動で減少。2学科とも減少し、特に(心理)(83)は大幅減少。
- 国際コミュニケーションは、一般方式合計の募集人員139人に対し、志願者数は3,814人、志願倍率は27.4倍と全学部中で最も高倍率だった。

<センター利用方式>

- 文(62)は、3年連続増加の反動で大幅減少。国際コミュニケーション新設で募集停止の(日本語)を除いても(68)の大幅減少。学科別では、(哲)(117)は大幅増加だが、他の5学科は大幅減少。特に(ジャーナリズム)(33)は激減。
- 法(69)は、系統への人気低下に加え、前年度大幅増加の反動で大幅減少。2学科とも大幅減少。
- 経済(75)は、系統への人気低下に加え、前年度大幅増加の反動で大幅減少。学科別では、(国際経済)(72)は大幅減少。(経済)から2学科に改組の(現代経済、生活環境経済)も合計でも(76)は大幅減少。
- 経営(43)は、系統への人気低下に加え、前年度激増の反動で大幅減少。
- 商(113)は、神田キャンパスへの移転効果で6年連続増加。学科別では、(マーケティング)(127)が大幅増加、(会計)(99)は微減。
- ネットワーク情報(92)は、前年度大幅増加の反動で減少。
- 人間科学(98)は、2年連続減少。学科別では、(社会)(119)は大幅増加だが、(心理)(78)は大幅減少と対照的。
- 国際コミュニケーションは、センター利用方式合計の募集人員16人に対し、志願者数は1,380人、志願倍率は86.3倍と全学部中で最も高倍率だった。